

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認、病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った情報を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

研究課題名	電磁波式体成分分析装置（ReDS Pro システム）による肺水分組成比率測定値と左心房圧実測値の比較検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学講座 教授 山口 修
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2024 年 12 月 31 日
対象	2023 年 5 月から 2023 年 8 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち心房細動アブレーションを受けられた患者さんと、電磁波式体成分分析装置による肺水分組成比率の測定を受けられた患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要	現在、社会の高齢化に伴って、心不全の患者さんが増加しています。心不全の治療では、左心室が拡張した際の内圧上昇が、患者さんの症状（息切れ・呼吸困難）の原因となるため、その値を非侵襲的に知る方法が求められています。 最近になり、電磁波式体成分分析装置（ReDS Pro システム）という、肺うっ血を無侵襲で測定できる装置が開発されました。本装置を用いる事で、左心室が拡張期内圧の上昇を正確に検出できる可能性があります。まだほとんどの事が知られておりません。 心房細動のアブレーション治療を受けられる患者さんでは、治療時に左心房の中にシースという管を挿入させて頂いております。その管の中の圧力を測定することで、左心室が拡張期内圧を推定することができます。その結果と、電磁波式

	体成分分析装置で測定した肺うっ血の程度を比較することが、本研究の目的です。
個人情報の取扱い	収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。 また、保管される試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院 循環器・呼吸器・腎高血圧内科学講座 玉置俊介 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5303